

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

1-ヘプタノールのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号

A 0 0 0 4 7 2 - 3 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo. 211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 1-ヘプタノール
- 2) 暴露方式： 半止水式 (毎日試験液の全量を交換)
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度 (設定値) :
対照区, 助剤対照区, 2.00, 5.00, 13.0, 32.0, 80.0 mg/L
公比：約 2.5
助剤濃度一定：80 mg/L (HCO-60 使用)
- 6) 試験液量： 80 mL/容器
- 7) 連数： 10容器/試験区
- 8) 供試生物数：10頭/試験区 (1頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： ガスクロマトグラフィー (GC)

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果，測定値の設定値に対する割合が，±20%を超える値があったため，結果の算出には測定値の時間加重平均値を用いた。

2) 21日間暴露後の結果

親ミジンコの半数致死濃度（LC50）： 11.1 mg/L

(95%信頼区間：7.26～16.7 mg/L)

50%繁殖阻害濃度（EC50）： 3.83 mg/L

(95%信頼区間：3.47～4.29 mg/L)

最大無作用濃度（NOEC）： 1.37 mg/L

最小作用濃度（LOEC）： 3.89 mg/L